

## 対面授業再開に向けた取組について

## 現在の取組（9/12まで）

## &lt;小中学校・特別支援学校&gt;

地域における感染状況や児童生徒の発達段階に応じた適切な学習となるよう、実情に応じて対応

※ 主な取組

分散登校（学年別や校区别等）、分散登校とオンライン授業の組み合わせ 等

## &lt;高校&gt;

全ての県立高校でオンライン授業を基本、オンラインでの実施が困難な活動（面接指導や小論文指導等）は、感染防止対策を徹底したうえで、個別に実施

※ 主な取組

- ・ 特別時間割（多くは1コマ20～30分程度・複数クラス合同）によるオンライン授業
- ・ オンラインでの教材・課題配信や質問等への対応
- ・ 時間を指定した、登校での個別の進路指導（就職先決定のための懇談、面接指導、小論文指導等）
- ・ 悩みを抱える生徒への個別面談（心のケア）等

## ◆ 学校行事・課外活動について

- ・ 学校行事（文化祭・体育祭等（準備を含む））を延期又は中止
- ・ 修学旅行を延期又は中止
- ・ 校外学習や遠足、就業体験等を原則、延期又は中止

## ◆ 部活動について

- ・ 原則、部活動を休止
- ・ 次につながる大会・コンクール等が2週間以内にある部活動のみ活動可

※ 9/12までの大会・コンクール等は延期又は中止

## 対面授業再開に向けた取組

## 9/12（日）まで（資料3）

- ✓ 村上委員によるWeb講演会の開催（9/6）
- ✓ 「健康チェックカード」の項目追加
- ✓ 「再開前チェックリスト」の新規作成  
→ 学校における感染防止対策を再徹底
- ✓ 県教委職員による学校実地調査の実施

## 高校3年生の状況

## 1 卒業生（R3.3）の進学・就職状況

10月～12月における進路決定者の割合

【就職】	24.5%
【推薦入試（秋）】	41.7%

☞ 約70%の生徒が進路決定する大切な時期

## 2 県立高校の状況

県立高校	63校	【定期考査実施月】
うち2期制	47校	【6月・9月/11月・3月】
うち3期制	16校	【5月・6月/9月・11月/2月】

☞ ほとんどの高校で9月下旬に定期考査を実施

## 3 対面授業（登校）の必要性

- 推薦入試等の受験者を決定するために、定期考査（9月）の成績は重要  
☞ 定期考査は、一斉登校し、同一の条件で適正に受験することが不可欠
- 定期考査前に、オンライン学習支援の成果も踏まえたうえで、学習内容の確認や学習進度の調整などのため、対面授業の実施が必要

## 9/13（月）から

## ◆ 高校3年生（就職・進学が目前）

☞ 密を回避しつつ、感染防止対策を徹底して対面授業を再開

- ・ 各校で、密を回避する工夫等をして、正規の時間割による対面授業を再開
- ・ 感染リスクの高い活動（近距離で大きな発声を伴う活動等）は一時的に休止
- ・ 対面により、一層きめ細かく就職及び進学に向け指導
- ・ 登校に不安のある生徒には、オンラインによる学習支援を継続

## ◆ 高校1、2年生

☞ オンラインによる学習支援を継続  
（感染状況を注視しつつ、対面授業の再開を検討）

## ◆ 学校行事・課外活動について

- ・ 学校行事（文化祭・体育祭等（準備を含む））を延期又は中止
- ・ 修学旅行を延期又は中止
- ・ 校外学習や遠足、就業体験等を原則、延期又は中止

## ◆ 部活動について

- ・ 高校1、2年生がオンライン支援中は、原則、休止
- ・ 次につながる大会・コンクール等が2週間以内にある部活動のみ活動可

小中学校・特別支援学校については、地域や学校の実情に応じて対応（原則、現在の取組を継続）